



# かけはし

本年度の本校の教育について総括しました。ご一読ください。

## 学校教育目標

地域や児童の実態をふまえ、人間尊重の精神を基盤に、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで心身共にたくましい児童の育成を図る。

目指す児童像 ○ 自ら学び、行動する子 ○ なかまと力を合わせる子 ○ 体力づくりに励む子

## 教育課程・学習活動

### ○ときめきタイム・基礎基本の時間

全校一斉読書によって落ち着いた雰囲気の中で一日をスタートし、基礎基本の時間で頭をフル回転させて基礎学習に取り組む。そんな朝の活動が習慣付いています。読書意欲や学習意欲にまだ個人差がありますが、どの子どももこの時間を楽しみに待てるように指導や支援を続け、確かな学力の基礎を築いていきます。



### ○コミュニケーション能力の育成

『心豊かに、ことば豊かに～読み取り、伝え合い、高め合う授業づくり～』を研究テーマに、国語科を中心に、自分の思いを自分の言葉で語り合うことで互いに高めていける取組を続けてきました。また、朝の会や帰りの会、学校行事等を通じて、人前で話す機会も設けてきました。今後もそうした取組の成果を生かし、どの教科領域でも子どもたちの言語力を高めながら、より確かな学力を育成する取組を継続していきます。



### ○豊かな心・たくましい体

物事に感動する心や自他の生命を大切に作る心、ルールやマナーを守ることなど、人として生きていくために大切な心や態度を子どもたちに育んでいかなければなりません。学校では、子どもたちの感動体験を生かした道徳教育を進めてきました。今後も、家庭や地域との連携を深めながら、子どもたちの心を耕していきましょう。

健康な体を作るためにも運動や食事が大切です。『自分の健康は自分で保つ』そんな意識を持たせて、家庭と連携しながら、進んで運動したり、早寝早起き朝ご飯を実行したりできる子どもを育てていきましょう。



### ○創GOタイム

自ら課題を持ち、自ら考え、自ら解決する学習を目指して、各学年毎に工夫をしながら取り組んできました。なかまと協力しながら課題に取り組む姿、児童や保護者の前で緊張しながらも一生懸命発表する姿を見ることができます。また、コンピュータ学習や英語学習、問題解決に必要な基礎的な学習活動もこの時間を利用して行ってきました。来年度からは、学習指導要領改訂移行措置に伴い、5、6年生の英語活動を週1時間程度に増やす予定です。



## 生徒指導

『元気に登校、笑顔で下校』をスローガンに、明るく楽しい学校づくりに取り組んできました。今後も、全職員の共通理解のもと、あいさつ運動や規範意識を育てる取組、いじめ等を起こさない取組を進めていきます。また、様々な問題行動を予防するためには、家庭の協力が不可欠です。各家庭で温かい雰囲気作りに努めていただくとともに、基本的な生活習慣などしつけるべきところはしっかりしつけていただけると幸いです。



## 人権教育・特別支援教育

子どもたちの口から簡単に発せられる「あほ」「ぼけ」「死ね」という言葉。また、体の特徴を冷やかしたり、失敗をはやし立てたりする心ない言葉。こうした言葉を、本校からなくしたいと思います。毎月11日の『人権を確かめ合う日』の取組や日頃の学習の積み重ねを通して、今後も、相手のことを思いやり、互いに認め合える、よりよい集団づくりを目指します。また、講演会等を通して保護者の方々への啓発も続けていきます。



(人権の花)

## 組織運営

よりよい子どもを育てるため、またよりよい学校を築くため、学校長を中心に全職員が協力体制を整えて取り組んできました。今後も、職員室や各種会議の場で積極的な意見交換をしながら、元気な教職員集団として日々の教育活動や学校運営に取り組んでいきます。

## 安全管理

学校事故を未然に防ぐために、安全点検や避難訓練などを定期的に行ってきました。不注意による事故を防止するため、児童一人一人の安全に対する意識を高めることが課題です。

## 研修

教員一人一人の力量を高めることで、子どもたちの力も高まります。教育のプロとしての自覚を持って研修を進めます。

## 保護者・地域住民との連携

連絡帳や電話、家庭訪問を通じて、保護者との連絡を密にしながら児童のよりよい成長を促してきました。また、本年度もかけはしの発行やアンケート等の実施により、保護者や地域の方々や学校との双方向の交流に努めてきました。今後も、子どもたちのよりよい成長のためにご協力をお願いします。

本年度の五條小学校の教育について、職員一人一人が行った自己評価の結果は次の通りです。(数値は職員全体の平均です)

領域	評価項目	評価の観点	評価 四段階		
教育 活動	教育課程 学習指導	・ときめきタイムの充実に積極的に取り組んでいる。	3.4	3.4	
		・基礎基本の定着の時間を生かし、基礎学力の充実に努めている。	3.3	3.3	
		・個に応じた指導など、指導方法の工夫改善に努めている。	3	3	
		・子どもたちが人前で話す機会を増やすよう心がけている。	3.2	3.2	
		・読み取り、伝え合い、高め合う学習を意識して、実践している。	2.8	2.8	
		・道徳の時間を中心に、児童の心に響く道徳教育を推進している。	2.8	2.8	
		・運動が好きな子を増やすための取組を進めている。	2.9	2.9	
	生徒指導	・あいさつも含めて、子どもたちに積極的に声をかけている。	3.5	3.5	
		・自主性等を育むために、児童会、委員会活動を積極的に推進している。	2.8	2.8	
		・様々な場を通じて、規範意識の向上を図っている。	3	3	
		・問題行動の予防のために、職員同士で互いに情報交換をしている。	2.9	2.9	
		・保護者と連携しながら児童の基本的生活習慣の定着に努めている。	2.9	2.9	
		・生活指導において、関係諸機関との連携ができています。	2.8	2.8	
	人権教育 特別支援 教育	・人権問題を正しく理解させ、人権感覚を高める指導に努めている。	3	3	
		・気になる子についての共通理解が図られ、日々の指導に活かされている。	3	3	
		・交流学习等、共に活動する中で五小っ子児童への理解を深めている。	2.5	2.5	
		・個別の支援計画を作成し、一人一人を大切に教育を進めている。	2.6	2.6	
		・人権教育講演会等を企画し、保護者への啓発を積極的に行っている。	2.5	2.5	
	学校 経営	組織運営	・校長の学校経営方針が職員にも保護者にも周知されている。	3	3
			・各種会議での話し合いが教育活動や学校運営に活かされている。	3	3
			・日々の問題や悩み等気軽に話し合える職場の人間関係ができています。	2.9	2.9
・教職員が服務規律を遵守しようとする自覚をもって行動している。			3.4	3.4	
安全管理		・計画的に避難訓練の実施ができています。	3.5	3.5	
		・安全点検を計画的に実施し、行き届いた改善がなされている。	2.9	2.9	
		・危機管理マニュアルを理解し、迅速かつ適切な対処ができています。	2.6	2.6	
研 修		・校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	3.2	3.2	
		・校外への研修にも積極的に参加し、教員としての資質を高めている。	2.2	2.2	
保護者、 地域住民 との連携		・日頃から家庭訪問等を通して保護者との意思の疎通を図っている。	3.3	3.3	
	・PTA活動を計画的に推進し、保護者との連携を図っている。	3.1	3.1		
	・学校通信等を通じて、保護者や地域住民との交流を図っている。	3.4	3.4		